

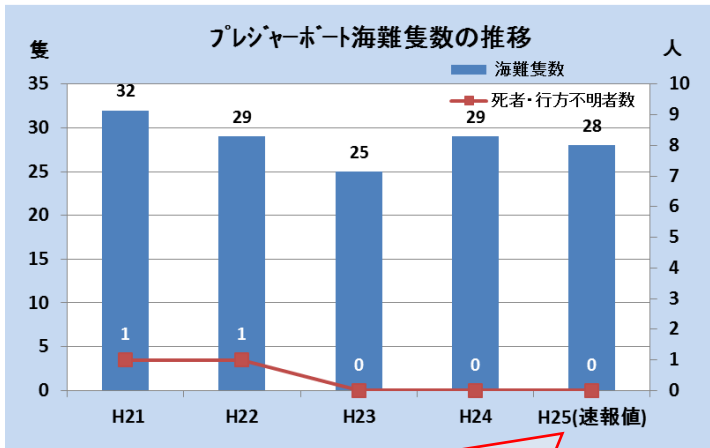
マリレ情報よろず屋

平成 26 年 2 月発行第 18 号
第二管区海上保安本部
マリンレジャー安全推進室

マリンレジャーに関する安全情報など様々な情報をお届けします！

海の安全情報 平成 25 年のプレジャーボート海難の発生状況（速報値）

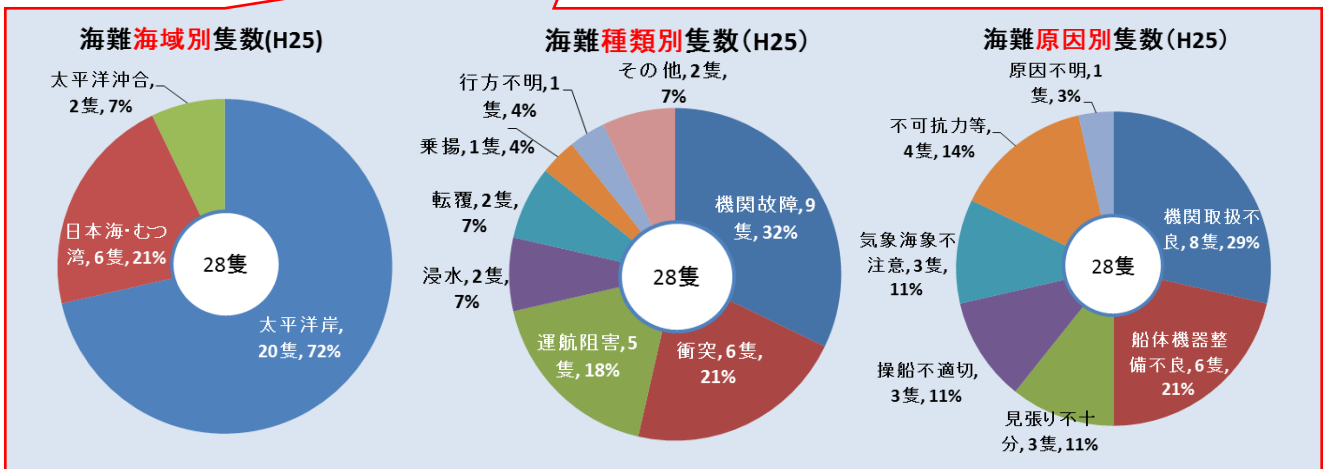
平成 25 年中に東北の海で発生したプレジャーボートの海難隻数は 28 隻で、前年に比べ 1 隻減少。これらの海難による死者・行方不明者は発生していません。



海難の発生海域別では、太平洋沿岸 20 隻、日本海沿岸・むつ湾 6 隻、太平洋沖合 2 隻。

海難の種類別で多いのは、機関故障 9 隻、衝突 6 隻、運航阻害※5 隻。

海難の原因別で多いのは、機関取扱不良 8 隻、船体機器整備不良 6 隻、見張り不十分 3 隻など。海難原因の約 8 割が人為的な要因によるものです。



※運航阻害…バッテリーの過放電、燃料欠乏、無人漂流などをいう。

プレジャーボート海難ワースト3と海難防止のためのポイント

第1位 機関故障

POINT 「定期点検・整備の励行(エンジンオイル、冷却水ポンプインペラ等消耗品類の定期交換など)」

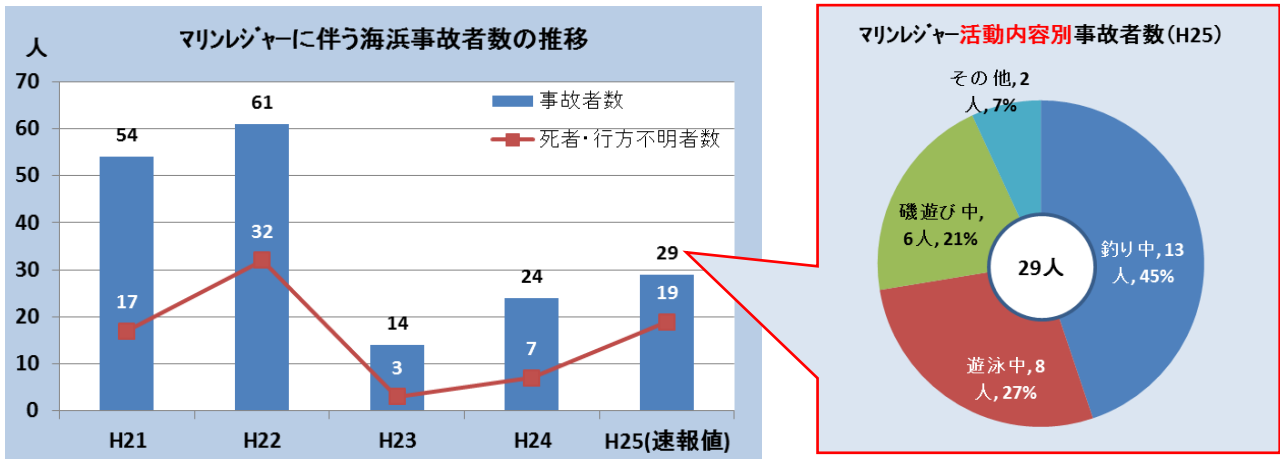
第2位 衝突

POINT 「常時適切な見張り、航法を守り早目の避航」

第3位 運航阻害

POINT 「出航前点検の励行(燃料量、バッテリーの電圧・端子の緩みの点検など)」

平成25年のマリネジャーに伴う海浜事故の発生状況（速報値）



平成25年中に東北の海で発生したマリネジャーに伴う海浜事故者数は29人で、前年に比べて5人増加しています。これらの事故による死者・行方不明者数は19人で、前年に比べて12人増加しています。

マリネジャーの活動内容別で多いのは、釣り中13人、遊泳中8人、磯遊び中6人。12月には、八戸港で夜釣りをしていた釣り仲間3人が海に転落して亡くなる事故が発生しています。

釣り中の事故防止のためのポイント



「最新の気象・海象情報の入手」

「単独行動は避け、家族へ釣りの予定（行先、帰宅時間）を伝える」

自己救命策の確保（ライフジャケットの着用、携帯電話等連絡手段の確保、海のもしもは118番）も忘れずに！

海の言葉 海や船に関する用語について解説します。『観天望気』

「観天望気」とは、雲、風、気温などの自然現象を観察して、これまでの経験を基に天気の変化を予測するものです。「観天望気」の方法は地域によって異なります。その地域の「観天望気」に詳しい人などから十分な知識を得ておけば、天気を予測する際の参考となります。

「観天望気」にみられる一般的な「ことわざ」には次のようなものがあります。

波状雲が出ると雨

うろこ雲が出ると翌日・翌々日は雨

朝焼けは雨、夕焼けは晴

日傘、月傘が出ると翌日は雨

星が激しくまばたと風が強くなる

朝、東の風に黒雲があると天気が崩れる

朝、西空の虹は悪天候の前触れ

※「観天望気」を利用する際は、気象庁等の発表する気象情報も必ず確認しましょう。

酒田海上保安部では、「庄内浜の観天望気」を取りまとめ、ホームページで公開しています。↓↓

http://www.kaiho.mlit.go.jp/O2kanku/sakata/kantenbouki/kantenbouki_01.html



イベント情報 塩屋埼灯台が一般開放されます。

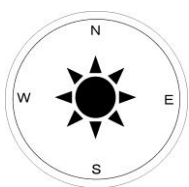
東日本大震災で被災した塩屋埼灯台（福島県いわき市）は、平成23年11月30日に灯火は復旧しましたが、施設や通路にも大きな被害を受けたため、大規模な復旧工事を行っていました。

この度、復旧工事がほぼ完了し、約3年振りに参観が再開されることとなりました。これに先立ち、次のとおり灯台の一般開放を行います。

一般開放：平成26年2月22日（土）午前10時30分から午後2時までの間



羅針盤 編集担当者の四方山話的コラムです。『ミニボート』



小型船舶操縦免許や船舶検査が不要で、車で手軽に運んで使用できるミニボート。国土交通省海事局によれば、ミニボートに使用される出力1.5kw未満の船外機は、毎年5千台以上出荷されていて、平成24年度末のミニボートの保有隻数は、3万から4万隻にのぼると推定されるとのことです。

ミニボートの海難も増えています。海上保安庁の海難統計によれば、ミニボートの統計を取り始めた平成16年の海難隻数は14隻でしたが、平成24年は56隻と4倍に増加しています。

免許や検査が不要とはいえ、ミニボートも立派な船舶。海の上では海上衝突予防法などの交通ルールを守らなければなりませんし、機関故障などを防止するために点検・整備も必要です。

ミニボートであっても、交通ルールを守らずに他の船と衝突事故を起こせば刑事責任を問われる可能性があります。「こちらはミニボートだから相手が悪い」というのは通用しないのです。また、海の上でエンジンが不調になったり、燃料が切れてしまえば、沖に流されたり、風浪が強くなって転覆してしまうかもしれません。

ミニボートで海に出る前に、まずは海の交通ルールや点検・整備の方法を覚えましょう。気象・海象や様々な海に関する知識も必要ですね！



本紙を印刷物でご覧の方へ

マリレ情報よろず屋をホームページからご覧になる場合は、次のURLから！「マリレよろず屋」で検索してもヒットします！

<http://www.kaiho.mlit.go.jp/O2kanku/yorozuya/index.htm>

マリレよろず屋

で

検索

